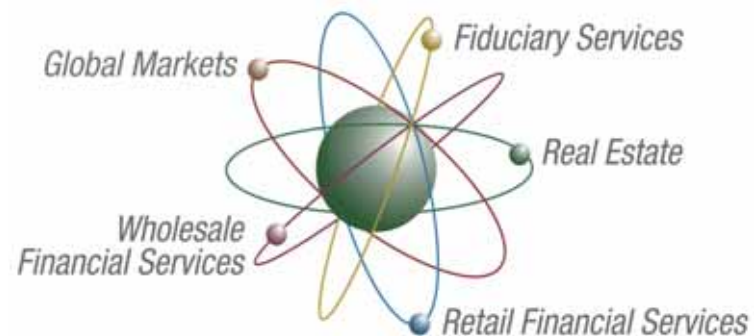




SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

***The Sumitomo Trust &
Banking Co., Ltd.***



2006年度 決算説明会

2007年5月31日

- ▶ 2006年度 決算概況
- ▶ 財務状況
- ▶ 2007年度 決算予想
- ▶ 各事業の状況
- ▶ 中期財務目標および収益計画



2006年度 決算概況



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

2006年度 決算概要

- ▶ 単体実質業務純益はリテール事業・受託事業が計画を上回り、前年比+7%増の1,759億円
- ▶ 当期純利益は、与信関係費用の増加を主因として単体は前年比 7%、連結は子会社寄与拡大で同+4%
- ▶ 連結ROEは8.8%、配当は公表予想通りの前年比5円増配の1株当たり17円、配当性向27.4%

<連結> (億円)	06年度	05年度	増減額	増減率
実質業務純益	2,154	1,962	192	9%
経常利益	1,701	1,719	17	1%
当期純利益	1,038	1,000	37	4%
連結自己資本ROE	8.8%	9.9%	1.1%	11%
連結EPS(潜在株式調整後)	62.04円	59.87円	2.17円	4%

<単体> (億円)				
実質業務純益	1,759	1,646	112	7%
資金関連収支 (*1)	1,620	1,625	4	0%
手数料関連収支 (*2)	1,159	1,114	45	4%
その他の収支	197	123	74	60%
経費 ()	1,218	1,216	2	0%
経常利益	1,345	1,482	137	9%
当期純利益	818	884	66	7%
与信関係費用 ()	405	97	307	314%
1株当たり配当金 (普通株式)	17円	12円	5円	42%
連結配当性向	27.4%	20.0%	7.4%	37%

(*1) 貸信合同信託報酬(不良債権処理除き)を含む

(*2) 貸信合同信託報酬以外の信託報酬を含む



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

事業別損益の状況

- ▶ リテール、受託事業：総預り資産、受託資産の拡大で単体粗利益は各々前年比 15%、17%の増加
- ▶ ホールセール事業：単体は与信スプレッド低下を主因に減益、連結はグループ各社の寄与拡大で増益
- ▶ 不動産事業：前年度の大幅伸長の反動（大口仲介案件の減少）で減益

(億円)	単体 実質業務粗利益			単体 実質業務純益			連結 実質業務純益		
	06年度	05年度	増減	06年度	05年度	増減	06年度	05年度	増減
リテール事業	842	734	108	273	171	101	296	199	97
ホールセール事業	1,053	1,060	7	694	721	26	962	931	31
うち証券代行業業	195	184	10	45	41	3	91	82	9
マーケット資金事業	487	486	1	394	394	0	394	394	0
受託事業	559	479	79	285	206	78	331	240	90
年金・投資マネージ	415	375	39	199	160	39	213	167	45
証券管理サービス	144	104	39	85	46	38	117	73	44
不動産事業	300	342	42	226	264	37	270	296	26
事務アウトソースに伴う支払 *1	273	261	11						
その他 *2	10	22	12	114	110	3	99	99	0
合計	2,977	2,862	115	1,759	1,646	112	2,154	1,962	192

*1 当年度より、各事業部門の単体実質業務粗利益を、「事務アウトソースに伴う支払」前に変更。支払額の事業毎の内訳は決算発表時の「平成18年度通期決算説明資料」12ページをご参照。

*2 資本調達・政策株式配当等の収支及び純粹本部のコスト等を「その他」として計上。



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

主要グループ会社の連結損益への寄与額

- ▶ ファーストクレジットの通年寄与に加え、受託・不動産事業の各社業績拡大で業務純益寄与は前年比+79億円
- ▶ 住信・松下フィナンシャルサービス、ビジネクストは前年の特殊要因解消を主因に減益
- ▶ 住信リース、住信保証には当期純利益ベースで各々36億円、21億円の一過性の利益押上げ要因

(億円)	所属事業	当社G 持分割合	実質業務純益*1			当期純利益 (のれん償却前*2)		
			06年度	05年度	増減	06年度	05年度	増減
住信保証	リテール	100%	23	18	4	38	9	29
住信リースグループ	ホールセール	*3 100%	30	17	12	54	11	42
住信・松下フィナンシャルサービス	ホールセール	66%	52	82	30	18	29	10
ファーストクレジット	ホールセール	100%	106	44	61	93	58	34
ビジネクスト	ホールセール	40%	25	20	5	2	9	7
日本TAソリューション	証券代行	80%	46	40	6	32	28	3
STB(USA)	受託	100%	29	22	6	17	13	4
日本トラスティ・サービス信託銀行	受託	33%	8	8	0	4	5	0
住信アセットマネジメント	受託	100%	12	10	2	7	6	1
すみしん不動産	不動産	100%	27	23	3	13	12	0
住信不動産投資顧問	不動産	100%	13	5	7	8	3	4
合計			395	316	79	220	115	104

*1 連結子会社の場合：経常利益(臨時要因調整後) - 内部取引(配当等)

持分法適用関連会社の場合：経常利益(臨時要因調整後) × 持分割合 - 内部取引(配当等)

*2 のれん償却額61億円(前年度53億円)：ファーストクレジット54億円(38億円)、住信・松下フィナンシャルサービス20億円(20億円)、住信リース 12億円(-)など

*3 05年度は持分法適用関連会社、06年12月より連結子会社。同社のリース子会社を含む。



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

国内資金利益の増減要因

- ▶ 預貸粗利鞘は05年度下期を底に改善傾向
- ▶ 有価証券利回り低下などにより、国内資金利益全体では前年比微増に止まる

【預貸粗利鞘(国内3勘定)の推移】

	06年度		05年度	
	下期	上期	下期	上期
貸出金利回り	1.36%	1.18%	1.09%	1.16%
預金・信託元本利回り	0.34%	0.22%	0.16%	0.17%
預貸粗利鞘	1.02%	0.96%	0.93%	0.99%

貸出スプレッドは縮小する一方、預金スプレッドは拡大

【国内3勘定資金利益の増減要因】

(資金収支:億円、平残:兆円)	06年度通期			05年度通期			増減		
	収支	平残	利回り	収支	平残	利回り	収支	平残	利回り
国内3勘定資金利益	1,465			1,460			5		
資金運用収益	1,985	15.66	1.26%	1,704	14.06	1.21%	280	1.60	0.05%
うち 貸出金	1,301	10.22	1.27%	1,089	9.60	1.13%	212	0.62	0.14%
うち 有価証券等 (*1)	438	4.05	1.08%	401	3.48	1.15%	36	0.56	0.07% (*2)
うち スワップ収支	168			171			3		
資金調達費用	521	15.56	0.33%	252	13.92	0.18%	269	1.63	0.15%
うち 預金・信託元本	326	11.40	0.28%	180	10.55	0.17%	145	0.84	0.11%
うち 譲渡性預金	66	2.15	0.31%	6	1.84	0.03%	60	0.31	0.28%
うち コールマネー等 (*3)	41	1.37	0.30%	5	1.18	0.04%	36	0.19	0.26%

(*1) 有価証券及び買入金銭債権

(*2) うち、債券・買入金銭債権利回り + 0.10%、株式等利回り 0.73%

(*3) コールマネー及び売渡手形、信託勘定借、並びに売現先・レホ・短期社債。



手数料収入の増減要因

- ▶ リテール事業：投信販売が順調な推移、預り資産増加で管理報酬が着実に拡大
- ▶ 受託事業：年金信託、投資信託の受託残高の伸びを主因に高成長を継続
- ▶ 不動産事業：単体の仲介手数料が前年の大幅伸長の反動で減少

<連結> (億円)	06年度	05年度	増減額	増減率	主な増減要因(億円)
その他信託報酬	582	501	81	16%	不動産証券化 5
うち年金信託・指定単・金外信	326	291	34	12%	年金信託 32、指定単 3
うち投資信託・特金・有価証券信託	134	94	40	43%	投資信託 31、特金 3、運用有託 4
役務取引等利益	1,037	1,005	31	3%	
国内部門	973	952	21	2%	投信運用 13
うちリテール事業関連	310	273	37	14%	投信手数料 38(うち管理報酬 27)
うちホールセール事業関連	455	433	22	5%	ファーストクレジット 19
うち証券代行業業関連	209	199	10	5%	TAソリューション 7
うち不動産事業関連	349	366	17	4%	業務用仲介 44、投資顧問 9、住宅仲介 16
うち事務(証券管理・年金事務)のアウトソースに伴う支払	143	139	4	3%	
国際部門	64	53	10	21%	グローバルカストディ 8
合計	1,619	1,506	112	8%	



SUMITOMO TRUST

住友信託銀行

不良債権の状況

- ▶ 「一部業種」の事業環境を踏まえた債務者区分見直し(要注意先へ)で、約300億円の信用コスト増
- ▶ 破綻懸念先の増加によるコスト増もあるが、「一部業種」要因を除けば巡航速度内の信用コスト

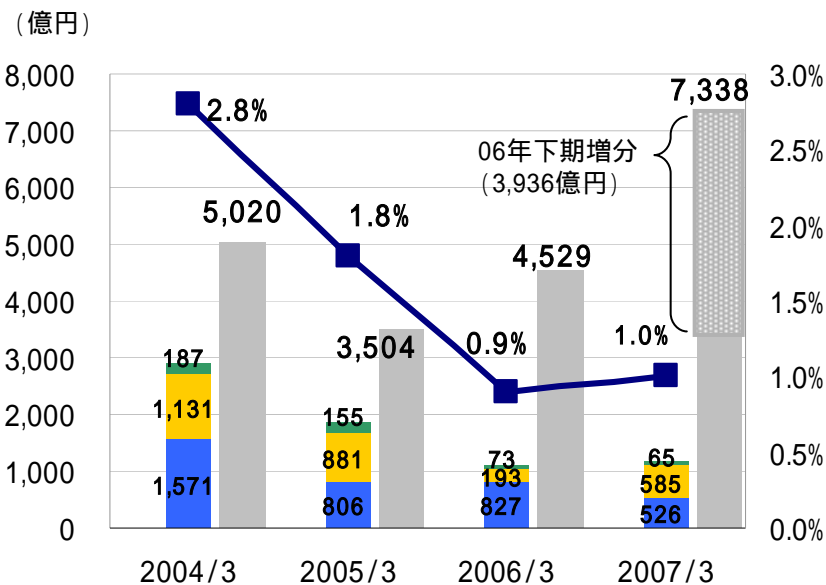
【与信関係費用の内訳(単体)】

(億円)	06年度 処理額	05年度 処理額
銀行勘定処理額	391	89
償却・売却損等	48	41
貸倒引当金純繰入額	342	48
個別貸倒引当金等*	154	56
一般貸倒引当金	188	104
信託勘定処理額	13	8
与信関係費用 合計	405	97
投資損失引当金純繰入額	64	12
広義与信関係費用 合計	469	85

* マイナスは貸倒引当金戻入益の計上

【開示不良債権残高(単体、銀行・信託勘定合計)】

- その他要注意先債権
- 要管理債権
- 危険債権
- 破産更生等債権
- 開示不良債権比率(右目盛り)



- ・一部業種の区分悪化 約 300億円
 - ・その他新規発生 約 320億円
 - ・区分改善等 約 150億円
 - ・残高増減・回収等 約 70億円
- ネット 約100億円



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

財務狀況



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

債務者区分の異動

- ▶ 2006年度下期中の要注意先の増加のうち「一部業種」の区分悪化は約4,000億円、別途、業績改善トレンド先に対する新規貸出が約400億円(ネット回収等 279億円)
- ▶ 一方、通期ベースでは区分改善となった先が約1,200億円

【銀行勘定・元本補てん契約のある信託勘定合計(単体)】

(2006年度下期)

(億円)	2007/3末	2006/9末	2006/9末比	増減要因				償却・回収等
				区分悪化(+)	区分悪化(-)	区分改善(+)	区分改善(-)	
破産更生等債権	65	60	5	20			2	12
危険債権	585	234	350	440	4	0	3	83
要管理先債権	827	983	155	1		0	0	156
要管理先債権以外の 要注意先債権	7,037	3,128	3,909	4,671	394	3	92	279

(2006年度上期)

(億円)	2006/9末	2006/3末	2006/3末比	増減要因				償却・回収等
				区分悪化(+)	区分悪化(-)	区分改善(+)	区分改善(-)	
破産更生等債権	60	73	13	11			10	15
危険債権	234	193	41	96	4	2	18	35
要管理先債権	983	1,170	188	16	11	21	129	85
要管理先債権以外の 要注意先債権	3,128	4,186	1,058	256	80	44	969	309



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

有価証券及び金利リスクの状況

- ▶ 債券の評価損益は着実に改善
- ▶ アウトライヤー比率は、基準:20%超に対して6.26% (速報値)

【有価証券の評価損益 (連結:償却後/時価のあるもの)】

	貸借対照表計上額			取得原価			評価損益		
	2007/3末 (A)	2006/3末 (B)	(A) - (B)	2007/3末 (C)	2006/3末 (D)	(C) - (D)	2007/3末 (E)	2006/3末 (F)	(E) - (F)
満期保有目的の債券	7,068	8,388	1,319	7,068	8,388	1,319	16	68	52
その他有価証券	40,840	43,632	2,792	35,875	39,514	3,638	4,964	4,118	846
株式	9,891	9,113	777	4,819	4,639	179	5,072	4,474	598
債券(円債)	9,514	13,927	4,412	9,550	14,113	4,562	35	186	150
その他(外国国債等)	21,433	20,591	842	21,505	20,761	744	72	170	97

【国債*の残存期間別残高(単体)】

(億円)	1年以内	5年以内	10年以内	10年超		合計
				ウチ変動利付		
2007年3月末(A)	1,965	4,630	4,106	530	282	11,233
2006年3月末(B)	2,398	4,880	5,081	1,499	1,197	13,859
(A)-(B)	432	250	974	968	915	2,626

*「満期保有目的の債券」「その他有価証券」の合算

【アウトライヤー比率・通貨別リスク量(連結)2007/3末】

総金利リスク量 (億円)	Tier + Tier			アウトライヤー 比率
	うち円	うちドル	うちユーロ	
1,209	679	303	196	6.26%

*主要通貨については、保有期間1年、観測期間5年、1%・99%タイル値を採用。また、コア預金については、過去5年間の最低残高・過去5年間の最大年間流出量を現残高から差し引いた残高・現残高の50%のうち、最小の額を上限とし、満期は5年(平均2.5年)として算出

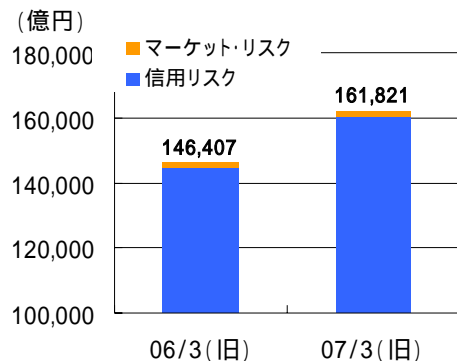


自己資本の状況

- ▶ 2006年度中、貸出増、住信リース連結効果等により、リスクアセットは旧基準ベース1.5兆円増加
- ▶ 基礎的内部格付手法採用するも、一部段階適用の影響もありTier 比率は旧基準並みの6.44%

【旧基準 06/3-07/3 比較】

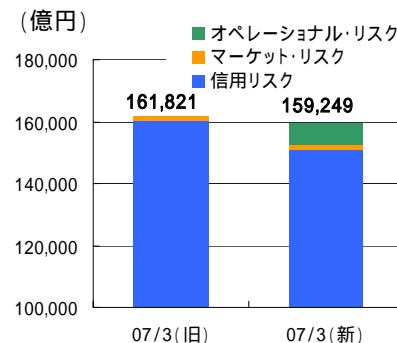
リスクアセット



【07/3 新・旧基準比較】

リスクアセット

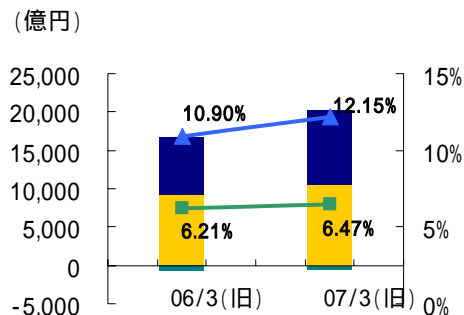
項目	(億円)	増減額
信用リスク		15,564
うち 貸出等		6,200
うち コミットメント		2,685
うち 連結子会社等 (住信リースほか)		6,800
市場リスク		150
合計		15,413



項目	(億円)	増減額
信用リスク		9,225
市場リスク		0
オペレーショナル・リスク		6,653
合計		2,571

自己資本および自己資本比率

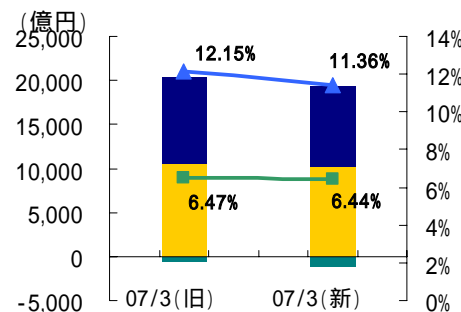
■ Tier ■ Tier ■ 控除項目
▲ 自己資本比率 ■ Tier 比率



項目	(億円)	増減額
Tier 1		1,378
うち利益剰余金		799
うち優先出資証券		500
うちのれん相当額		82
Tier 2		2,160
うち一般貸倒引当金		193
うち負債性資本調達手段		1,359
うち期限付劣後債務等		250
控除項目		168
自己資本の額		3,707

自己資本および自己資本比率

■ Tier ■ Tier ■ 控除項目
▲ 自己資本比率 ■ Tier 比率



項目	(億円)	増減額
Tier 1		210
うち (EL-適格引当金) × 50%		210
Tier 2		725
うち一般貸倒引当金		719
控除項目		631
うち (EL-適格引当金) × 50%		210
うち証券化イカスボージャ		412
自己資本の額		1,568

2007年度決算予想



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

2007年度決算予想

- ▶ 実質業務純益は、経費の増加要因を吸収して増益を見込む
- ▶ 与信関連費用は巡航速度化を想定し、「総与信の20bps程度」を見込む
- ▶ 連結当期純利益予想は前年比16%増の1,200億円、1株当たり配当18円(配当性向25%)

(億円)	07年度 予想	06年度 実績	増減
<連結>			
実質業務純益	2,200	2,154	45
経常利益	1,850	1,701	148
当期純利益	1,200	1,038	161
<単体>			
実質業務純益	1,800	1,759	40
実質業務粗利益	3,120	2,977	142
経費()	1,320	1,218	101
経常利益	1,550	1,345	204
当期純利益	1,000	818	181
与信関係費用()	250	405	155
1株当たり配当金(通期)	18円	17円	1円
連結配当性向	25.1%	27.4%	2.3%



各事業の状況

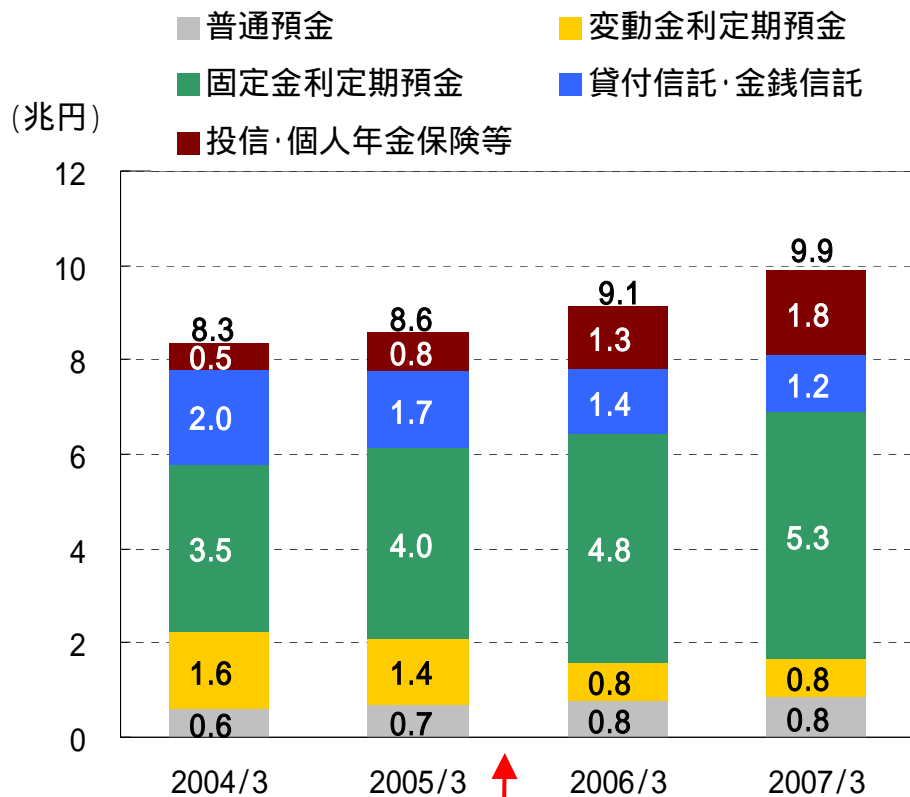


SUMITOMO
TRUST

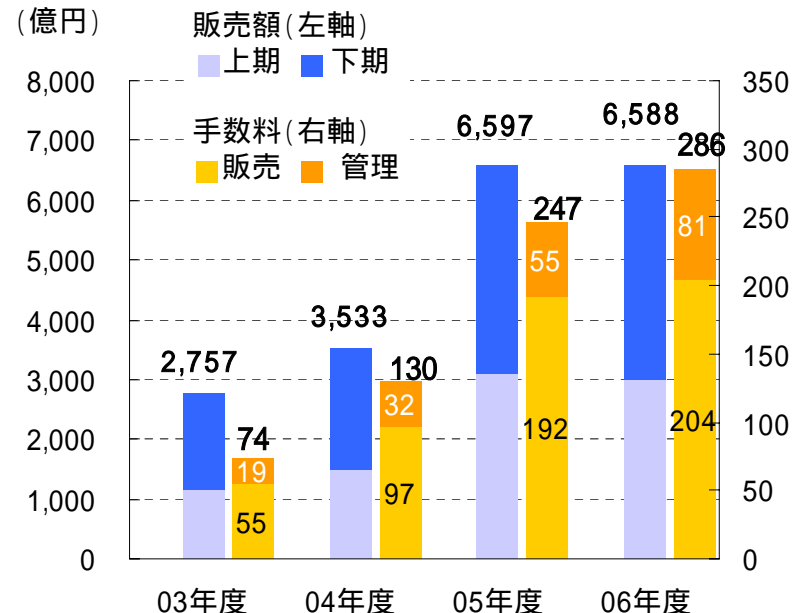
住友信託銀行

リテール事業

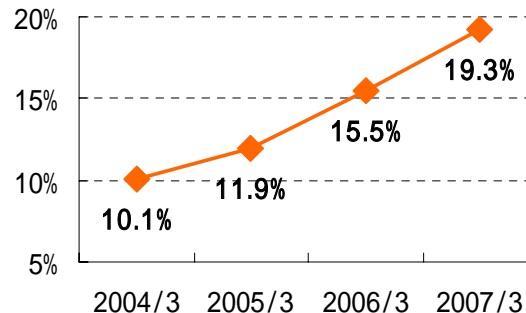
- ▶ 総預り資産は預金・投信等ともに順調に拡大 前年度末比8.8%の伸び
 - ▶ 投信・年金保険等の販売額は前年並みだが、ストックの投信管理報酬効果で着実な増収
- 【預り資産ポートフォリオ(個人)の推移】



ペイオフ全面解禁 2005/4



【定期預金・投資信託の取引があるお客様の投資信託等保有比率の推移】



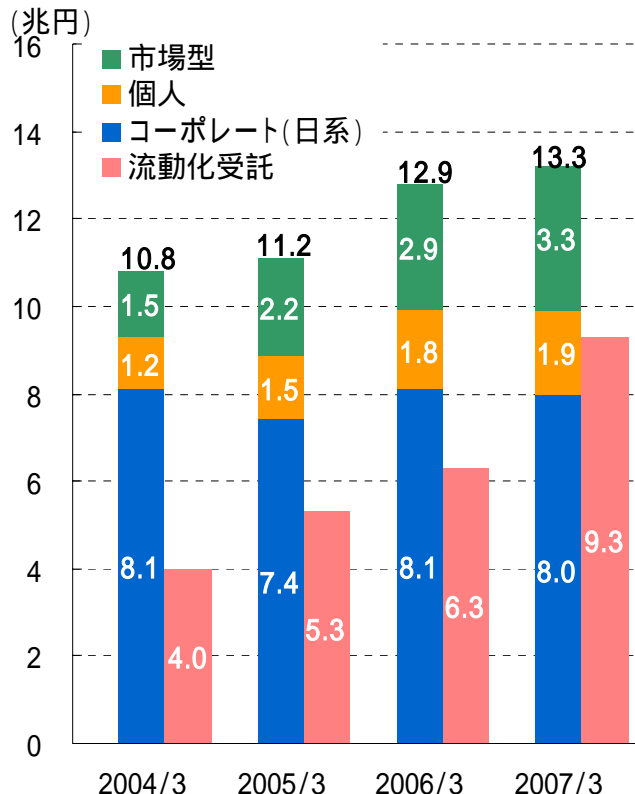
SUMITOMO TRUST

住友信託銀行

ホールセール事業及び貸付金等の状況(単体)

- ▶ 市場型貸付中心に前年度末比で残高拡大するも、増加ペースは巡航速度化
- ▶ 今後は資産回転型を一層志向し、ポートフォリオの収益性向上を図る

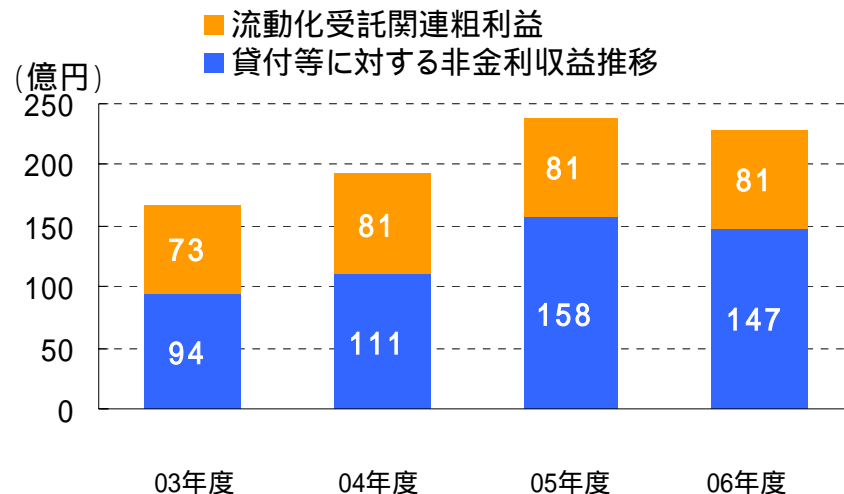
【貸付金等残高の推移(単体)】



(注)コーポレート:相対型、シンジケートローン、他行債権買取

市場型:クレジット投資目的の債券を含む。

【流動化受託・貸付関連の非金利収益推移】



【個人ローン実行額】

(億円)			
03年度	04年度	05年度	06年度
2,136	2,748	4,615	3,771



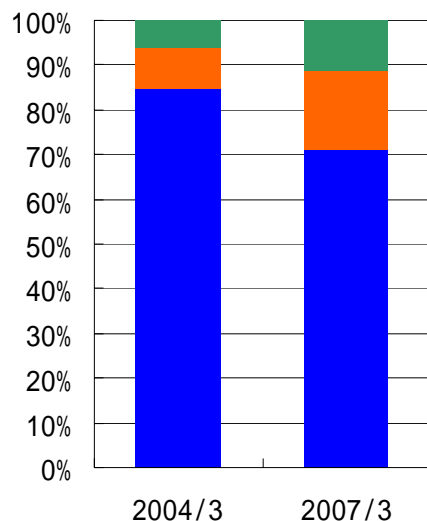
与信ポートフォリオ多様化、収益性改善への取り組み

- ▶ より収益性の高い国内外の市場型与信ポートフォリオを拡大(構成比30%へ)
- ▶ ホールセール与信関連収益に占める割合は過去3年度20% 35%に拡大

【ホールセール与信ポートフォリオの構成比(単体)】

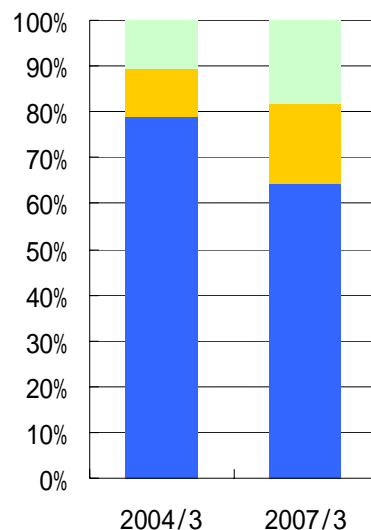
貸出金構成比

- 市場型(海外)
- 市場型(国内)
- コーポレート(日系)



収益構成比

- 市場型(海外)
- 市場型(国内)
- コーポレート(日系)

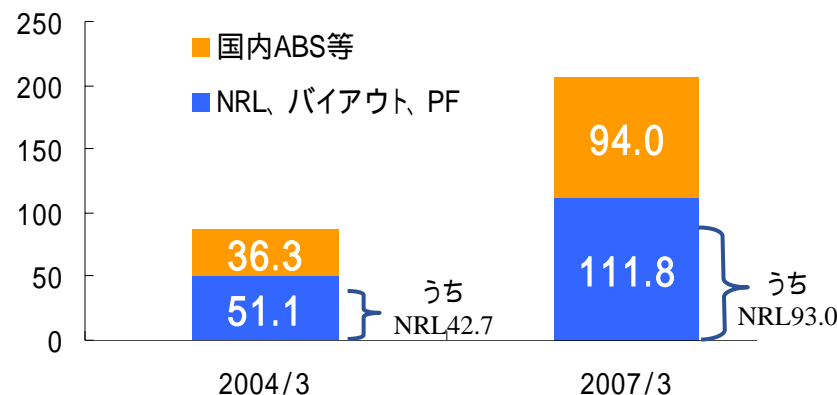


*コーポレート(日系): 相対型、シンジケートローン、他行債権買取の合計

市場型: NRL等の「特定貸出」、内外クレジット投資の合計

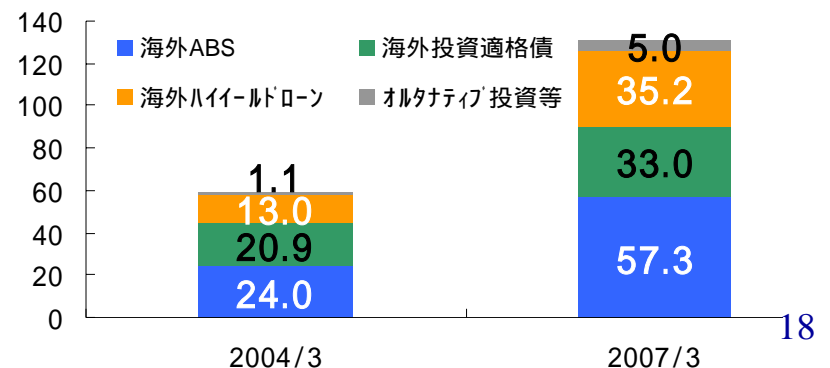
【市場型(国内)貸付金等残高の推移(単体)】

(百億円)



【市場型(海外)貸付金等残高の推移(単体)】

(百億円)

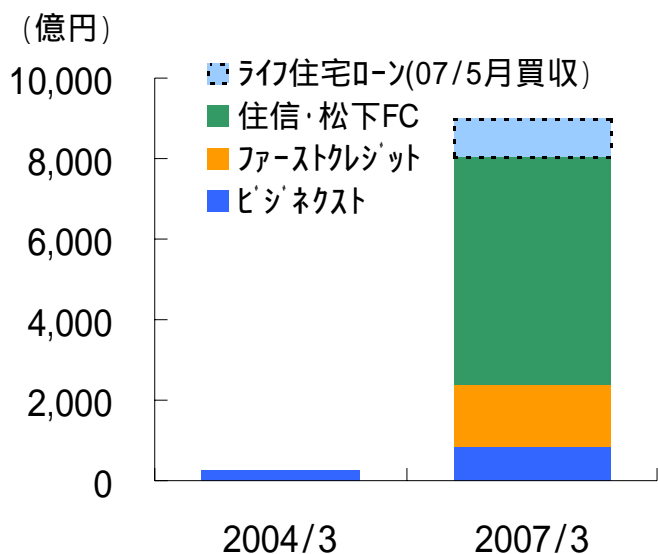


与信ポートフォリオ多様化、収益性改善への取り組み

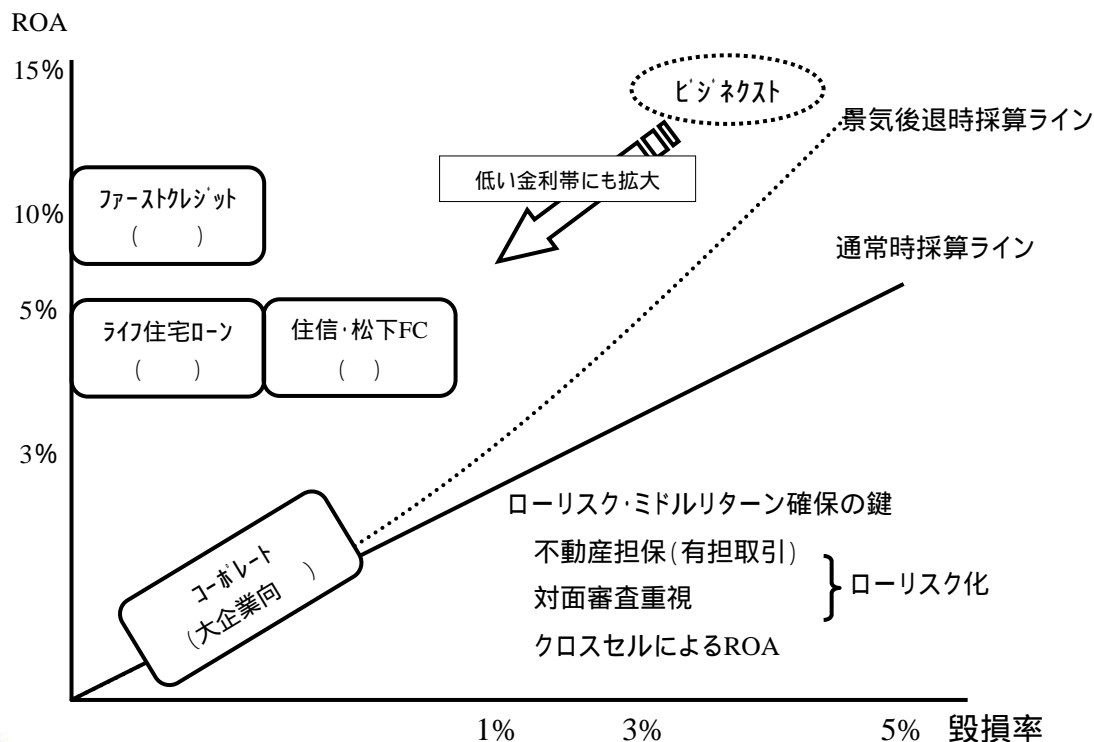
- ▶ グループ各社を通じたスモール・ミドルマーケットへの展開
- ▶ キーワードは「当社ビジネスモデルの活用」による「ローリスク・ミドルリターン」の追求
- ▶ ライフ住宅ローンの買収: 当社グループの不動産情報ネットワーク活用による同社事業の拡大

【当社グループのスモール・ミドルマーケット与信*】

【国内与信ビジネス展開の概念図】



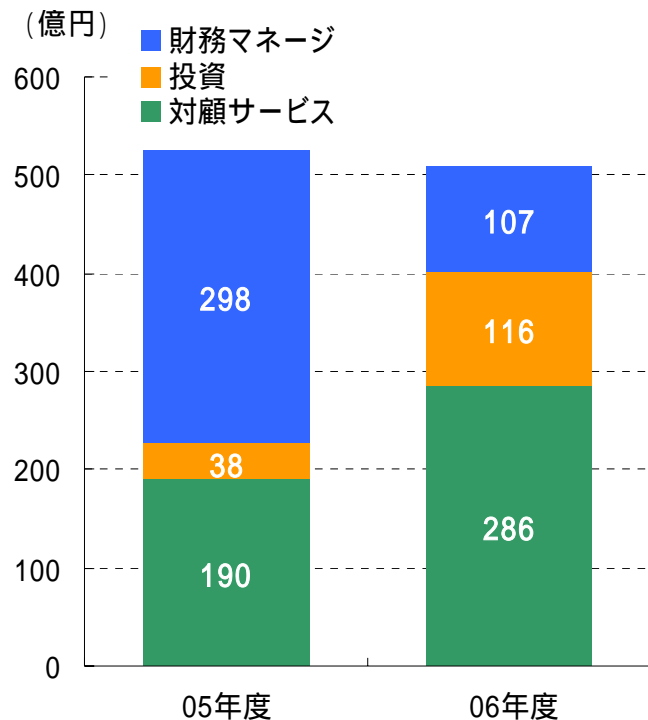
*営業貸付金、リース資産残高等



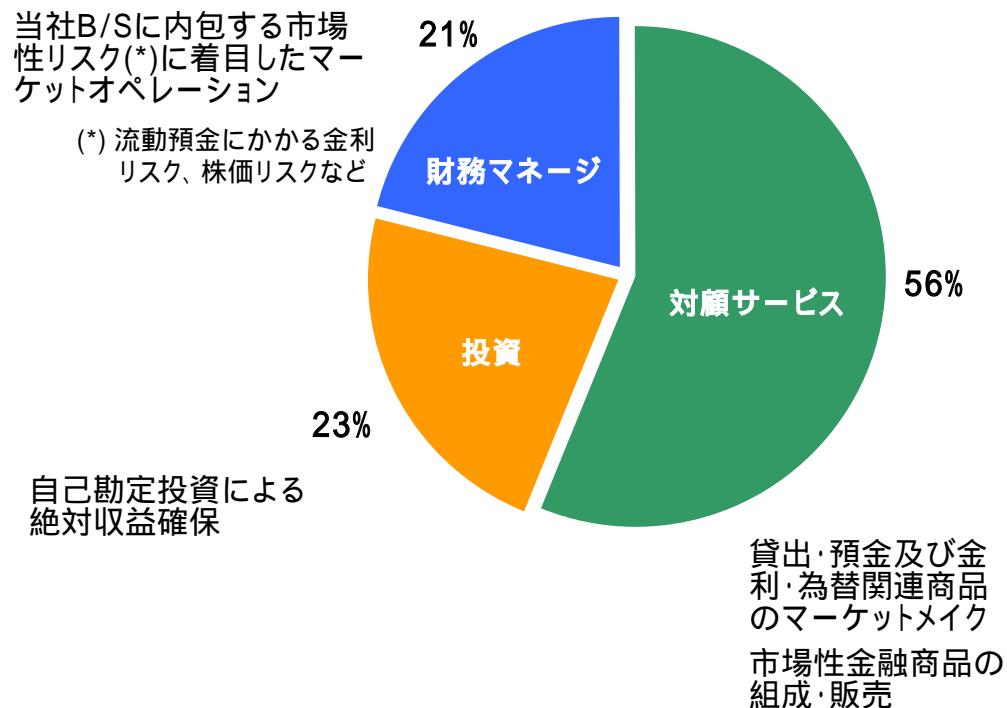
マーケット資金事業

- ▶ 「財務マネージ」は長短金利差縮小(逆転)で減益の一方、「投資」は投資対象多様化で増益
- ▶ 「対顧サービス」の増益で前年並みの収益確保

【収益内訳(実現損益ベース)】



【事業領域別の内訳構成(2006年度)】



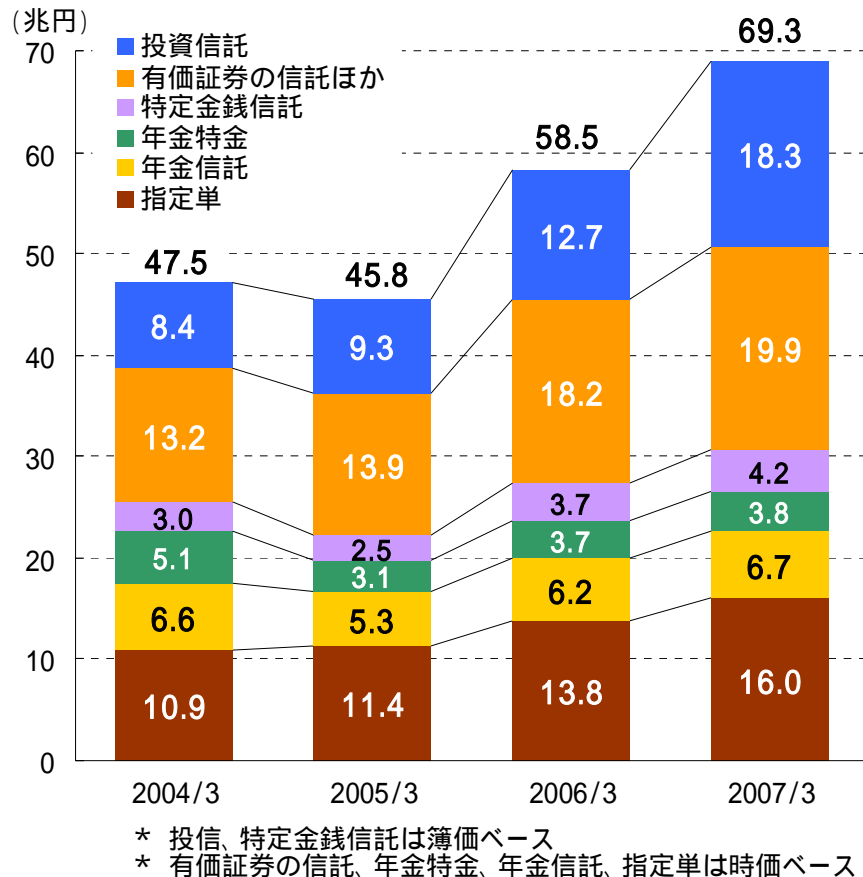
SUMITOMO TRUST

住友信託銀行

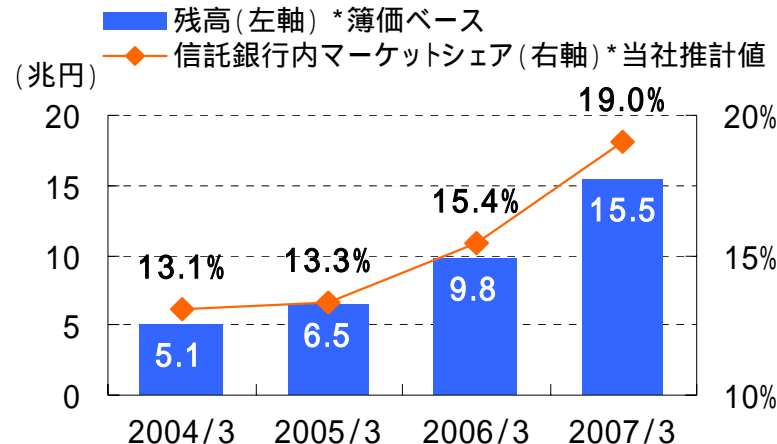
受託事業 (総受託残高、証券管理サービス)

- ▶ 受託残高は投資信託が牽引して前年比18%の増加
- ▶ 「貯蓄から投資へ」の流れを受け株式型投信は58%の増加、市場シェアも19%に

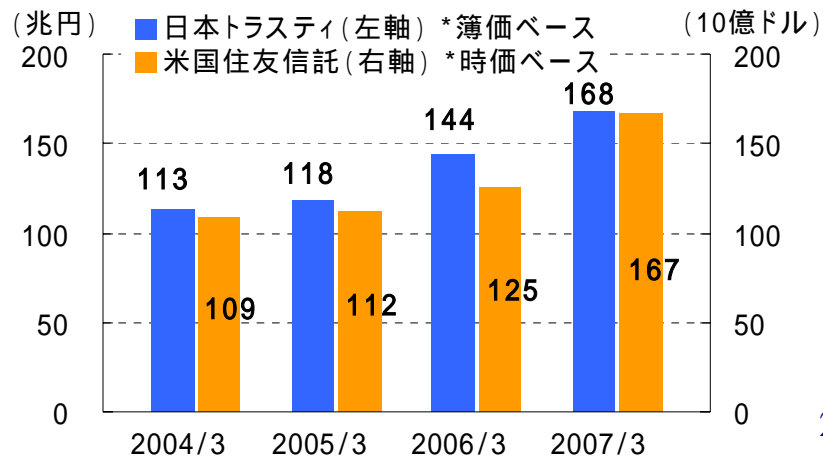
【受託資産残高推移】



【株式型投資信託の残高推移】



【日本トラスティ・サービス信託 受託資産残高推移】
【米国住友信託 受託資産残高推移】



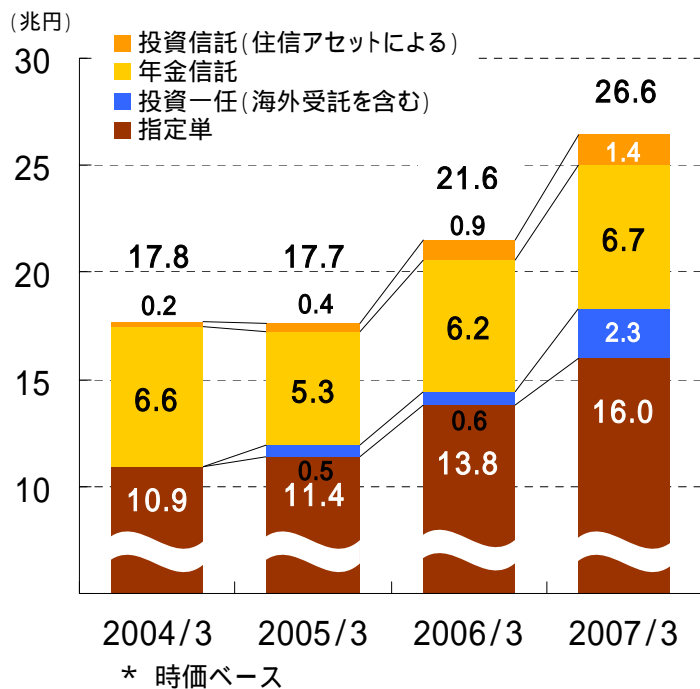
SUMITOMO TRUST

住友信託銀行

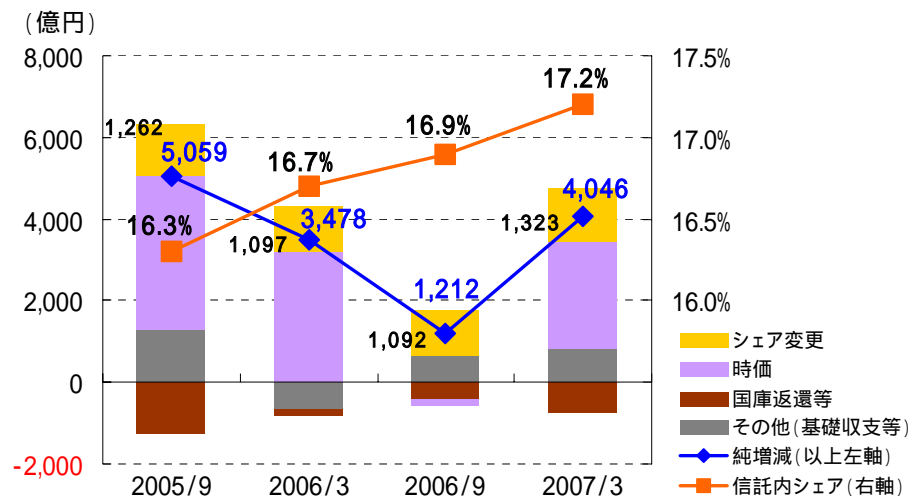
受託事業 (年金、投資マネージ)

- ▶ グループベースの運用資産残高は前年比23%増の26.6兆円
- ▶ 年金信託は引き続き順調にシェア向上、アクティブ比率は業界トップクラスの53%

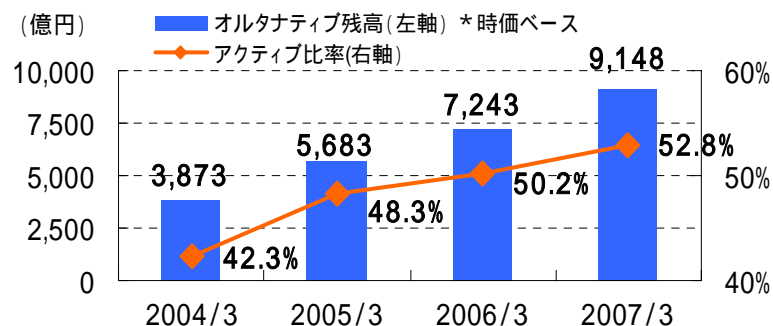
【当社グループ運用資産残高推移】



【年金信託残高の増減要因】
【年金信託の信託銀行内マーケットシェア*当社推計値】



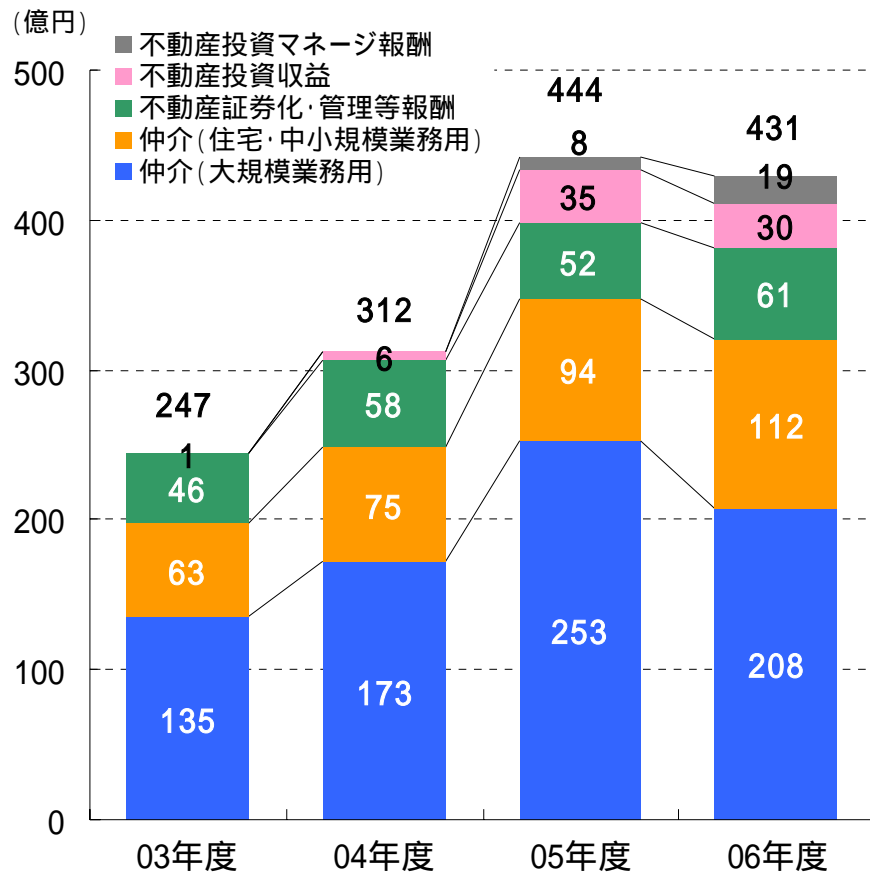
【年金信託アクティブ運用比率推移】
【オルタナティブ投資受託残高推移】



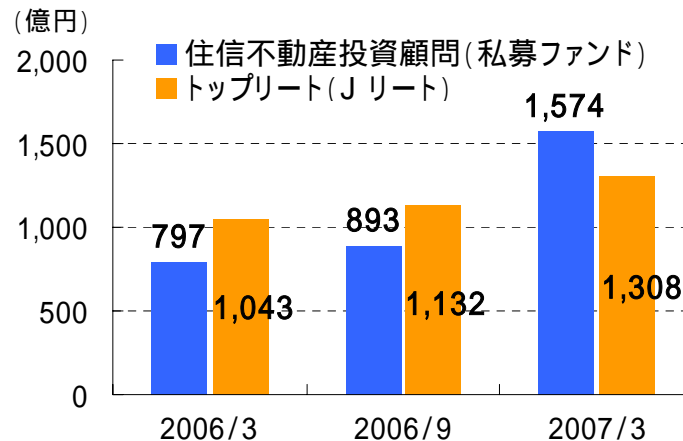
不動産事業

- ▶ 大口仲介案件の減少により減益となるものの、2003年度以降の成長軌道は維持
- ▶ 証券化、不動産信託、投資マネージなど、収益源の多様化を推進

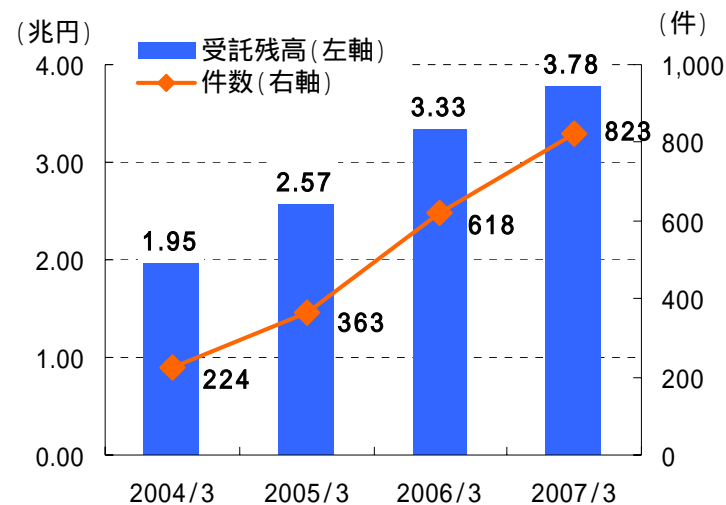
【不動産業務粗利益の推移】



【不動産投資マネージ 運用資産残高推移】



【不動産証券化 受託資産残高推移】



SUMITOMO TRUST

住友信託銀行

中期財務目標および収益計画



経営方針

経営モデル:「銀行・信託・不動産兼営」の特長を活かした持続的成長

当社の目指す姿

「お客様本位No1のトップクオリティ・トラストバンク・グループ」

トップクオリティ

財務: 収益の質、資産の質、資本の質
顧客基盤: 高い顧客満足度(CS)、取引深耕度
商品・サービス: 開発力、コンサル力、スピード
人材: 業界屈指のプロ集団
コンプライアンス・顧客保護・リスク管理態勢

2007年度重点強化施策

- ▶ 「CS向上力の強化」
- ▶ 「収益基盤の拡大および情報開発力の強化」
- ▶ 「経営・事業インフラの強化」
- ▶ 「人材力・チーム力の強化」

個人のお客様とともに歩む
「資産運用・資産管理メインバンク」

法人・機関投資家の皆様に価値を提供する
「戦略的パートナー」



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

中期財務目標

財務・資本政策：「資本効率の向上」と「自己資本の充実」の両立

株主資本ROE12%
の持続的達成



TierI比率 7~8%
(2009年度)

- ▶ 毎期の変動要因となる評価差額等を控除した「株主資本ROE」のベース*で12%の持続的達成を目標に
従来目標(自己資本ROE10%)に概ね相当する利益水準
*実績: 11.9% (05年度)、11.3% (06年度)
- ▶ 収益性指標(中期目標): 手数料比率(連結)50%、OHR(単体)40%台前半

- ▶ バーゼル 導入後のリスクマネージを踏まえた目標水準
(従来目標は6%以上の安定確保)
当面の資本政策への影響は限定的
- ▶ 「TierI 資本の質」の重視

配当を中心とした株主還元強化(2008年度 配当性向30%へ)



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

中期収益目標 - 2007年5月策定

<連結> (億円)	06年度(実績)	07年度	08年度		09年度	
実質業務純益	2,154	2,200	2,280	2,400	2,480	2,670
経常利益	1,701	1,850	2,010	2,130	2,210	2,400
当期純利益	1,038	1,200	1,210	1,270	1,330	1,450

<連単差>

実質業務純益	395	400	410	460	440	490
当期純利益	220	200	150	180	170	200

<単体> (億円)

業務粗利益	2,977	3,120	3,220	3,290	3,400	3,540
リテール	842	960	1,010	1,060	1,110	1,210
ホールセール	1,053	1,030	1,060	1,100	1,080	1,120
(事務アウトソース支払)()	(130)	(132)	(111)	(112)	(59)	(60)
マーケット資金	487	450	430	390	430	390
受託	559	570	580	590	600	610
(事務アウトソース支払)()	(143)	(150)	(125)	(125)	(118)	(118)
不動産	300	350	350	360	360	380
経費()	1,218	1,320	1,350		1,360	
実質業務純益	1,759	1,800	1,870	1,940	2,040	2,180
与信関係費用()	405	250	250		250	
経常利益	1,345	1,550	1,720	1,790	1,890	2,030
当期純利益	818	1,000	1,060	1,090	1,160	1,250

金利・株価想定 (ベース・シナリオ)

	07/3(実績)	08/3	09/3	10/3
1M-円LIBOR	0.67%	0.96%	1.26%	1.51%
10Y-JGB	1.66%	1.80%	1.96%	2.08%
株価(円)	17,287	17,500	17,500	17,500

金利・株価想定 (アップサイド・シナリオ)

	08/3	09/3	10/3
1M-円LIBOR	1.23%	1.68%	1.96%
10Y-JGB	2.51%	3.10%	3.49%
株価(円)	20,000	21,500	23,000



參考資料



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

住信リースグループ、住信・松下フィナンシャルサービスの状況

【住信リースグループ】

主要P/L(億円)	2007年3月期		2006年 3月期
		増減	
取扱高	2,078	119	1,959
営業利益	67	1	65
うち 販売管理費	57	5	51
経常利益	66	3	69
税引前当期純利益	294	218	75
当期純利益	173	128	44

(注) 07年3月期には株式売却益228億円を 特別利益に計上しております。

主要B/S(億円)	2007年3月末		2006年 3月末
		増減	
総資産	5,204	42	5,246
うち リース資産	3,411	25	3,436
うち 割賦債権	910	69	840
うち 営業貸付金	458	175	283
純資産	463	62	401

(注) 07年3月期の計数については、会計監査を受けておりません。

【住信・松下フィナンシャルサービス】

主要P/L(億円)	2007年3月期		2006年 3月期
		増減	
取扱高	3,916	983	2,933
営業利益	50	30	80
うち 販売管理費	179	6	186
経常利益	53	31	84
税引前当期純利益	55	27	82
当期純利益	31	17	48

主要B/S(億円)	2007年3月末		2006年 3月末
		増減	
総資産	6,015	787	5,227
うち リース資産	3,573	640	2,933
うち 売掛金	1,394	64	1,330
うち 営業貸付金	715	60	655
純資産	698	22	675



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

ファーストクレジット、ライフ住宅ローンの状況

【ファーストクレジット】

主要P/L(億円)	2007年3月期		2006年 3月期
		増減	
営業利益	84	17	66
うち 貸付金事業粗利	147	46	101
うち 営業経費	63	25	38
経常利益	85	18	66
税引前当期純利益	85	28	56
当期純利益	93	7	86
与信関係費用 *	21	10	11

* 貸倒引当金繰入額

主要B/S(億円)	2007年3月末		2006年 3月末
		増減	
総資産	1,697	467	1,229
うち 営業貸付金	1,526	373	1,153
うち 貸倒引当金	83	2	86
純資産	366	93	272

【ライフ住宅ローン】

主要P/L(億円)	2007年3月期		2006年 3月期
		増減	
営業利益	25	5	19
うち 事業粗利	34	6	28
うち 営業経費	9	0	8
経常利益	25	5	20
税引前当期純利益	25	5	20
当期純利益	14	3	11
与信関係費用 *	1	1	0

* 貸倒引当金繰入額

主要B/S(億円)	2007年3月末		2006年 3月末
		増減	
総資産	1,030	195	835
うち 営業貸付金	955	195	759
うち 貸倒引当金	4	0	3
純資産	53	14	39



SUMITOMO
TRUST

住友信託銀行

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや、不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。